

「神よ。まことに、あなたは私たちを調べ、銀を精錬するように、
私たちを練られました。…しかし、あなたは豊かな所へ
私たちを連れ出されました。」

(詩篇 66 : 10、12)

新春の喜びをお伝えします。今年1年が、皆さまにとって、神様の祝福がますます増し加えられる1年でありますように、心から祈ります。

チアにとって、12年めに入る年です。神様の恵みとあわれみの中に、ベストを尽くしていければと思っています。今年もどうぞ、よろしくお願いします。

写真は、水中カメラマンの海島晴由さんに御提供いただいた「富士山と大瀬崎」です。この2011年の出発にふさわしい写真をとって、海島さんに特別にお願いしました。海島さんは、これまで聖書に立つ「りか」の教科書の表紙写真、「サラサエビ」や「コスジイシモチ&ムラサキハナギンチャク」の作品等を提供くださいました。今年、新しい作品集も出版予定です。作品集「いのちの海」に掲載されていた「富士山と大瀬崎」の美しさ、ダイナミックさと感動が忘れられず、2011年の巻頭写真に用いさせていただけたらと思い、本誌はモノクロ印刷であるのに、お願いして、特別にご快諾くださいました。カラーは、www.cheajapan.comで見られます。海島さん、ありがとうございます！

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫



「富士山と大瀬崎」(photo by 海島晴由氏)

ロス発・クリスマス便

今回は、12月25日、クリスマスの日にロサンゼルスを出発して、日本にきました。今後のチアやチャーチ&ホームスクーラーたちにとって、大切になるであろうミーティングや伝道企画が、いくつかあったからです。アメリカではクリスマスの前後は家族みんなで過ごすのが普通なので、飛行機はガラガラ。25日出発は少し

寂しかったですが、神様の備えてくれた戦いの場にチャレンジする思いで向かいました(-)。

恐れのない自由 — 蓮舂大臣や 柴橋衆議院議員らとの「クリスマス会」にて

日付変更線を越えて、26日夜に到着。翌27日は、「チア・サポートスクール」立ち上げに向けて、堀井洋二・



蓮舫特命担当大臣

卓兄弟らとミーティング。4月開校に向けての準備が、一歩、一歩進んで感謝でした。

夕方からは、原宿で柴橋正直衆議院議員の「今年、最後のクリスマス会」。発起人会の一人で、クリスマス前の開催を延期してもらった会でした。「せめて、クリスマスは、家族といたい。クリスマス前は、逆に、みなさん忙しい。今年、最後のクリスマス会というタイトルで、年末開催はどうですか」と提案したところ、柴橋議員や、ほかの皆さんが賛成してくれ、そして、27日夜が指定されたのでした。

会には、蓮舫特命担当大臣（行政刷新担当、消費者及び食品安全担当）も来られ、スピーチをされ、その後、チア・マガジンの柴橋議員のインタビュー記事を見せながら、少し、話すチャンスも与えられました。「（蓮舫大臣）わー、柴橋くんが掲載されてるんですね」「（稲葉）はい。蓮舫大臣の写真も使わせていただきました。教育を学校任せにしないで、親が責任を持ち、祖父母や社会がそうした親を応援していこうという、教育の原点に立つ働きです」「（蓮舫大臣）はい。（名刺を見て）稲葉さんですね。では、楽しみに、読ませていただきますね。ありがとうございます」。そして、SPの方々と足早に次の会場に向かわれました。蓮舫大臣のスピーチで、とりわけ興味深かったのは、「私は、幸い、選挙運動しなくてすみます。だから、恐いものがなく、しがらみもなく、どこに媚びる必要もなく、正しいと思うままに、自由に行動できます」という言葉です。確かに、普通、議員は「選挙」に縛られます。みんなの党の渡辺喜美代表は、以下のように述べています。「候補者は朝立ち、夕立ち、盆踊りから始まり、お地蔵さん（交通量の多いところに立ってお辞儀をする）、空鉄砲演説（人通りのない住宅地に向かってする演説）ばかりすることになる。休みの日は黒服を着て、結婚式、葬式、、、政策の勉強できず、官僚への丸投げになる」「組織票に頼らなければならない人は、組織の意向にしばられる」。そうした世界で、見事に「選挙運動しなくてすみます。恐い者がなく、しがらみがなく、」という蓮舫大臣のことばと姿勢は、すっきりしてました。チャーチ&ホームスクーラーの強みの一つもまた、この世の流れの中での「しがらみから離れている自由」、「キリストにある、真理にある自由」にあるのではないかと思います。

真理が我らを自由にする (ヨハネ 8:32)

そして、その自由は、どのようにして与えられるのか。イエス・キリストに立ち返るときに初めて完全に与えられると、聖書は言います。「（イエス・キリストの）真理が我らを自由にする」（ヨハネ8:32）。国立国会法の前文にも、この聖句は書かれ、国会図書館本館ホールにその碑が刻まれています。国会で、「従来の政治が真理に基づかなかった結果、悲惨な状況に至った」（羽仁五郎参議院図書館運営委員長）といった発言の中で、国会図書館が建てられたのだとのことです。

前述の蓮舫大臣の話しを聞きながら、「善と悪を判断軸に、恐れないで行動すること」、「真理」、「自由」、「キリスト」、「チャーチ&ホームスクーラーと自由」ということを考えました。

パフォーマンス学の答えは聖書

続く1月6日、「パフォーマンス学」の創設者、佐藤綾子さんへのインタビューの機会を与えられ、とても面白かったです。佐藤綾子さんは、日大芸術学部教授、161冊の単行本があり、マスメディアにも度々、登場する売れっ子です。1985年、日本で初めて綾子さんが創始した「パフォーマンス」は、流行語大賞を獲得。当時は、中曽根康弘氏が総理大臣の頃で、綾子さんの本を読み、ほかの国会議員たちに綾子さんの「パフォーマンス学」の話をしてくれたそうです。その経緯もあり、今日まで、総理大臣経験者二人を含む、40数名の国会議員たちが綾子さんの指導を受けました。

今年のお正月番組にも登場し、海老蔵さんの謝罪が「パフォーマンス的にどうだったか」とか、分析されました。

2001年にクリスチャンになられ、「心理学」、「パフォーマンス学」の答えは、「聖書」にあると確信、この10年に出版される本は、どこかここに、聖書がちりばめられ、その伝道スピリットが、私は、とても好きなどころです。詳しくは、チア・マガジンに書きたいと思いますが、チャーチ&ホームスクーラーにも参考になるであろうヒントがたくさん伺えたので、そのいくつかを分かち合いますね。

積極性！

小学校教師、上智大大学院、そしてニューヨーク大学院で、世界で初めてのパフォーマンス学の修士課程を終えた綾子さん。帰国後、大学の教壇に立とうと就職口を探しますが、いわゆるオーバードクター（講師希望の博士たちが余っている状況）で、就職口が見つかりません。綾子さんは、玉川大学の創始者、小原国芳学園長（当時）に直接、電話して出かけます。小原学園長は、クリスチャンで、「神なき知育は、智慧ある悪魔を作ることなり」（ガリレオ・ガリレイ、ウェリントン英国首相ほか）とのことばを用い、工学部正面玄関に碑文も置かれた、全



「パフォーマンス学」の創設者、佐藤綾子 日大芸術学部教授

人教育の第一人者です。その学園長に会いに行きましたが、秘書さんに、アポなしはだめと断られたため、廊下で待っていました。「(綾子) 結局、その日、会えたんですよ。理事長が廊下を通ったんです。で、『昨日お電話した佐藤綾子です』『でも、時間あげるって言ってませんよね』『5分でいいです』と言って、実際には30分話して、『新しい酒は新しい皮袋に入れろって聖書にありますよね』。私は小原先生がクリスチャンであるなんて知らないんですよ。当時は私は仏教徒、、、。そして、学生を前にした試験的なレクチャーが好評で、講師の座を得ます。その積極性は、「国際パフォーマンス学会」設立時にも生かされます。

経団連副会長と隣り合わせて

綾子さんが、推薦者としてお願いしたのは、アサヒビール社長の樋口 廣太郎さん。経団連副会長を務め、当時、飛ぶ鳥を落とす勢いで尊敬を集めていたクリスチャン実業家です。

「(稲葉) なぜ、樋口さんに？」

「(綾子) 『財界』という雑誌のインタビューで出会って、共鳴したの。当時、技術者たちが、『この味の良さがわからないのは、消費者が愚かだから』と言ってたのを聞いて『違う。お客に合わせない方が悪い』と言い、マーケティング等を変え、結果的に、業界1位の座に躍り出る原動力になった、伝説的な財界人。それで頼みにいったところ、『(樋口) 嫌だよ、そんなの。なんで僕がパフォーマンス学会の会長なんかやらなくちゃいけないんだ。責任も発生するし、あんたとそんなに長い付き合いでもないし、嫌ですよ』って言われ、『嫌なのか』と思って帰ってきた』そうです。ところが、長野駅でばったり会って、隣の席に座らせてもらったそうです。「(綾子) 終点まで『学会の会長になってください』ってずっと言って来たんですよ。樋口さんは窓際に座って、私は

通路側に座っていたので、嫌だと思っても出られないわけですよ。上野のホームに降りて、『ごめんください』と言った瞬間に『やってやるよ』って(笑)。その後、樋口さんの講演を聞いた人たちから、『佐藤綾子ってね、うるさい女がいてね、パフォーマンス学、パフォーマンス学って、列車で席詰めになされて外にも出れず、ずっと言ってきたから、しょうがない、会長になってやったんだ。図々しい女だよ』ってさんさんにおっしゃったとのこと。みんなは、『悪口にしちゃ、嬉しそうに言ってるな』って思ったそうです(笑)。そうしておいて、最後に『ひとつ皆さん、佐藤綾子さんをよろしくお願いします』って言うのだそうです。『これは新しい学問です。日本に必要です。だから、理解してやってちょーだいよ』って。悪口だと思って聞いていると、最後に『応援してやってよ』って。多くの応援団を作るきっかけになってくださり、今も感謝にたえません。

綾子さんのあきらめないで、明るく人に飛び込んでいく、積極性は、ぜひ、チャーチ&ホームスクーラーに伝えたい姿勢と思いました。

以前、毎日新聞の名物社会部記者でならし、ドラマ「事件記者」等のモデルになり、私がマスコミに出発する訓練をしてくれた故山崎宗次さんに教えられたことも、もう一度、思い出しながら、聞いていました。

「(山崎) いいか、稲葉。どんな野良猫でも、ごろにゃんと何回でも、足元にまわりついてみる。最初は蹴飛ばそうかと思っていっても、何回もじゃれてこられると、可愛く思ってしまうんだ。人も同じだぞ。取材先には、何回、嫌な対応されても、あきらめないで、ごろにゃんと行くんだぞ」。山崎さんが話してくれたことは、その後、ずいぶん役に立ったと思います。もちろん、単に、粘りだけではなく、相手に対する、礼儀と敬意と謙遜さを持ちつつ、相手を励まそうとか、相手に貢献し、与える気持ちをもって、、、何より、神様に祈りつつ、従いながらだと思えます。とはいえ、肝心のポイントは、御心を求めつつ、あきらめないで、伝道も、仕事も、人間関係も、積極的にアプローチ、ごろにゃんとしていけたら、、、綾子さんの話しを爆笑しながら聞きつつ、そのように思いました。

佐藤綾子さんは、いっせいを風靡している最中に、長野県在住だった最愛のお母さんが「骨粗鬆症」(こつしょうしょう)の激しい痛みの中で絶望し、自ら絶食して命を失うという辛い体験をされます。そこには、「(綾子) 『パフォーマンス学』も、『心理学』も役に立たなかった。生きる意味も目的もわからなくなった」、綾子さんは、TVの人生相談役等の、レギュラー番組を自ら降ります。この時期、長年の夢がかない5年がかりで書いた論文が受理されて、心理学領域で博士号を取得するも、3000人もの人が集まった授賞式典には、お祝いとお母さんへのお香典とが一緒に来る状況でした。綾子さんは、パニック障害となり、入院し、命を絶つ方法ばかりを考える日々となります。その頃、誘われていったクリスチャンの松原湖バイブルキャンプの朝日の中で、キリストの愛と赦しを体験していきます。

詳しくは、次号マガジンに掲載させていただきますの

でお楽しみに。

第一回、東京伝道・ブレ体験デー、 祝福の内に終わる！

年末に遡って28日、渋谷駅前で、第一回東京伝道ブレ体験デーが開催されました。朝11時に、渋谷駅前に、フェリーチェ・スクールの皆さん（伊勢崎集会）、チルミニでおなじみの仙台の皆さん、そして、チアのメンバー、スタッフら総勢約40名の皆さんが集合。聖句のプラカードと祈りを持って、渋谷駅前の交差点に立って、キリストの福音を伝えました。お昼ぐらいになって、初体験の皆さんに聞いてみました。「どうだった？」「（ティーンAさん）すごく、うれしい！」「どうして？」「（Aさん）福音を、このように伝えられるって、楽しいと思う！」「ふーん(´・ω・´)」

「どう？」「（ティーンBさん）すごーい」「え？何が、すごい？」「（Bさん）（自由にお取りくださいと置いた、箱の中の）聖書、誰も持っていないと思ってた。そうしたら、たくさんの方が来て、もらって行くので、びっくり。すごーい驚いた」「そうかー、良かったねー」「（C家のお母さん）一時間で帰る必要があるので帰りますが、子どもたち、帰りたくない、最後までやりたい、って言うんですよ」「（D家のお父さん）すごーい。3時までの予定ですが、子どもたち、帰らないって言うてる」。お昼にNHKのディレクターEさんが差し入れのドーナツを持って来てくれました。NHKに合格したことをきっかけにクリスチャンになった方です。「（Eディレクター）私、よく渋谷で見かけるので、これって、危ない人たちかなって思ってたんですよ。でも、教会の友達もやるっていうから、来てみたんですけど。稲葉さんはどうやって知り合ったのですか、...」「（稲葉）そうだよ。僕も最初は、そう思ったから、気持ちわかるよ。最初に見たのは、今から20年ぐらい前かな。クリスマス後の吹雪のお茶の水駅前だった。高校生っぽい若者が、少しこわばった表情でやってた。伝道一生懸命で、すごいなーと思う反面、彼らはマインドコントロールされてるのではって思ったんだ。今思うと、寒くて、疲れてたろうし、緊張してたのかもしれない。それで、聞いてみたんだ。『どこから来たの？』『仙台のそば』『どういう気持ちでやってるの？』『疲れるけど、大事なことにしてると思う。イエス様の十字架の救いを、聖書の希望を聞いてもらえたらと思って』。話してみると、彼らは純朴で、そして、しっかり自分の意思でやってるって感じたんだ」「（Eディレクター）そうだったんですかー。その後は、どうしてここまで？」「（稲葉）それから10年して、仙台のミニストリーの創始者グループの方々が、チアの発足セミナーに出られたんだ。そして、交わりが始まったんだけど。僕なりに、取材を重ねていく中で、神学的にもしっかりして、どうこうというところないし、とにかく純粋に聖書に立ち返ろうという人たちだということがわかっていった。でも彼らの伝道は知られてるけど、素性が知られていないという側面があって誤解も多かったんだ」「（Eディレクター）ふむふむ」

「（稲葉）自分たちも、自分たちのことを知らせなかったし。証しという名の自慢話になっていくことを戒めていたんだ。取材を進めると、どうかなーって思う言動もあって、リーダーの方々に直接、提案することもあった。もちろん、完璧な団体は地上には無いから。でも、多くの尊敬すべきところ、見習うところがたくさんあった。そして、この路傍伝道もね」「（Eディレクター）これって、効果あるんですか」「（稲葉）あるんだよ。持ってみるとわかるよ。僕は、学生時代、キャンパスクルセードという一生懸命、路傍伝道するところで神様に導かれ、教会の中にいたらわからない、路傍伝道の喜びと効果をたくさん、体験できた。この聖句のプラカードだって、ほとんどの人がちらっとでも目を向けて、意外に読んでいるんだよ。みんな実際は、心の中では、希望、しかも、本物の希望を求めているんだよ。そして、すべての人々の心の中で、魂が、聖書には希望と真理があるって、論



第1回東京伝道ブレ体験デーより
(2010年12月28日渋谷駅前にて)



ポール・ブローマンさんの誕生日会

しているんだよ。プラカード持つとわかるから、やってみたら?」「(Eディレクター)じゃあ、昼休みの時間だけ、やってみようかな」。そこでディレクターさんは、20分ぐらい、渋谷駅前で聖句プラカードを持ちに行きました。友だちのFさんに「何て言ってた?」と聞くと「(Fさん)『良かった! みんな本当に読んでいくねー』って言ってましたよ。また、来ようかなって」「そうか、良かったー」。2回目の体験デーが2月11日にあります。良かったらお出かけください(23ページ参照)。

NHKラジオから 一風物詩となった伝道

続いて元旦から4日まで、今年は3年振りに、明治神宮前で聖句プラカードの伝道をさせていただきました。この3年はロサンゼルスで100万人ほど集まるローズパレード伝道に参加させていただいたので久々です。チアの皆さんもたくさん参加され、10才のGくんも2日間、張り切って伝道、「午前中で聖書を16冊も持っていった!」と喜んでいました(全国の路傍伝道地では、年末年始中、約3000冊あまりの聖書が求められていくそうです)。

1月3日のNHKラジオの短歌番組で、この路傍伝道を詠んだ短歌が選ばれていました。1月3日「三日の夜はプチプチ携帯俳句」(21:30-23:00放送)の番組内です。

「拡声器もて 神を説く 枯木かな」 克弘

選句を詠んだあとで、撰者たちとアナウンサーで、次のような会話が交わされたそうです。

「神様って、いるんですね、」

「渋谷駅前の年末年始の一つの風物詩ですよ」

「今年もやってましたね」「私も聞きました。」

風物詩となっているなと僕も今年、実感しました。僕は、まだ10年ぐらいの体験ですが、最初の頃より、驚く人が減っているというか、ほとんどいない、年末年始の聖句プラカードの存在が、違和感がなく、当たり前になってきているかなと感じるほどでした。全国13ヶ所以上でやられているとのこと。主催者発表の初もうで客数の(去年から、警察では、数字に信頼性が無いとのこと、その3分の1としても、およそ、1200万人以上が聖書のことばを、聞いたり、見たりすることになります。信じる、信じないは別に、「キリスト」とか、「罪のゆるし」とか、一瞬でも、考えることになります。継続は力というか、これを許している神様はすごいと思いました。

以前、国際弁護士の佐々木満男弁護士が、クリスチャンビジネスマンのリーダーたちを前にして、「渋谷駅前で仙台の皆さんの看板伝道はすごいでしょ。長年、継続しているなかで、日本人が受け入れてしまっている。もう、年末年始はあるのが当たり前というか。私たちクリスチャンは、今年、それぞれ、これまでのカラを破る必要がある!」と言っていました。

タイミング的にも、今は、日本のみんなが福音を聞くべき、神様の計画の時なのでしょうね。

4日間、ぼかぼか陽気の中、すごい楽しかったです。



長部日出雄さん(直木賞作家)

1月7日をすぎると、東京も急速に冷え込み、寒さの中で、神様は、天候も支えてくれていたんだな一、伝道者のためにも、聖書のことばを見る人々のためにもと、改めて感謝しました。

太宰治はキリストの福音に浸っていた! — 直木賞作家、長部日出雄さんとのインタビュー

母校、弘前高校の同窓会総会での企画担当となった僕は、全国的に活躍するOBへのインタビュー第4弾として、直木賞作家の長部日出雄先輩(76)を訪ねる道が開かれました。長部さんは、読売新聞社「週刊読売」記者からルポライター、映画評論家に転じ、「津軽世去れ節」「津軽じょんから節」で直木賞受賞。「鬼が来た!棟方志巧伝」で芸術選奨文部大臣賞、「見知らぬ戦場」で新田次郎文学賞、太宰治の伝記「辻音楽師の唄」—もう一つの太宰治伝「桜桃とキリスト」で大佛次郎賞、和辻哲郎文化賞を受賞します。

美しい山波に囲まれた高校時代への、感謝から始まった対談。僕は一番、聞きたいな—と思っていた話を聞きました。長部さんに太宰の評伝の執筆を依頼した「文学界」編集長、豊田健二さんが、「太宰治は、これまで言われていた以上に、聖書をよく読み、キリスト教に親炙(しんしゃ)していたと長部さんは言う」と指摘されていた、その視点でした。

長部さんは大佛次郎賞、和辻哲郎文化賞受賞作「桜桃とキリスト—第八章:生きたキリスト」に、太宰に伝道した緒崎潤(ひれさきじゅん)との出会いを書いています。「緒崎潤は、(太宰の)友人で、太宰が麻薬中毒で人格的に崩壊しかけていた船橋時代に訪ね、無教会派の塚本虎二の雑誌『聖書知識』や、内村鑑三の『求安録』や『基督教徒の慰め』等を貸し、精神病院に入れられてからの太宰が、聖書に救いを求めて少しずつ立ち直っていくきっかけを、間接的に作った年下の青年である。…緒崎は、同誌を持参して太宰とキリスト教の話をし(この時期に太宰は「人間キリスト記」を書き始める)...

塚本虎二は、太宰の無類の傑作（ユダの心情を描いた『駆け込み訴へ』の成立事情にも深く関わってくる。）、塚本は、『第一講 イエス伝研究の目的』でつぎのように述べる。

福音書は、いわゆる伝記ではない。、、、イエスはいかなる英雄にもまして偉大でありながら、わたしのもっとも近き友人であり、同情者である。わたしの両親も、妻も、子も、先生も、しかりわたし自身すらわたしに愛想を尽かすときに、かれのみは、わたしを棄てない。わたしと共に悩み、わたしと共に悲しむ。どこまでも、たぶん黄泉の底までも、わたしと共に下降して下さるであろう。大いなる逆説である。しかしここにかれの神の子たるゆえんがある。

キリストなるイエス。イエスなるキリスト。神の子なる人の子、人の子なる神の子。、、、しかししてたんに神の子を示すのみでなく、われらをして彼を信ぜしめ、われらに永遠の命を与える。しかり、われらをして神の子たらしめる。すなわち、われらの無限の罪を摘発し、その罪のゆえにわれらに死刑を宣告し、われらを十字架につけ、そしてまたイエスの十字架の（身代わりの死）ゆえに、われらを（罰から救い）甦らしめ、われらに永遠のいのちを与えるのである。これがイエス伝であり、それゆえにこそこれを福音という。

聖書、本を早く貸してください… たくさん、願います… 太宰 治

麻薬中毒の真っ只中にあった太宰の『本を早く貸して下さい。送って下さったらいいのだけれど。なるべく、たくさん願います』という悲鳴のような葉書（昭和十年九月十一日付け）、三鷹の家を訪ねるたび、画描きの鮎崎潤が携えてくるのは、『聖書知識』だけでなく、ミケランジェロ、レンブラント、グリュネヴァルトなどの愛蔵の画集もあった。これらもしかして信仰と無縁のものではなかったであろう。

「最後の審判」のイエスの傷に気づく太宰

太宰の『俗天使』は、語り手の『私』がそばに広げたミケランジェロ『最後の審判』の大きな写真版を見ながら、夕食をしているうち、ふとあることに気づいて、箸がとまり、食事を中止してしまう場面から書き出される。

ご承知のように、この大壁画は、最後の審判に恐れ戦き、あるいは救いを求め、あるいは地獄に落とされていく無数の群像の中央に、若若しく豊かで逞しい肉体のイエスが描かれているが、——よく見ると、キリストのからだの、その腹部に、その振り挙げた手の甲に、足に、まっくろい大きい傷口が、ありありと、むざんに描かれて在る。わかる人だけには、わかるであらう。私は、堪へがたい思ひであった。というのである。

太宰は『まっくろい大きい傷口』というが、両方の掌と足の甲の部分の傷痕は、よほど視線を凝らさなければ、おそらくだれも気がつかないだろう。キリスト教の生命は、『イエスの十字架の血』にあるとする塚本虎二の著

述を熟読し、画描きの鮎崎に、そこを指摘して教えられなければ、と、キリストの福音の真髄を掘り下げながら、長部さんの聖書から見た太宰治伝が続きます。

「（稲葉）文学界で、これだけ、聖書の視点からみた太宰治伝は、稀有の存在とのこと。とてもうれしかったです。そこに注目されたのはなぜですか」

「（長部）太宰の中期、後期作品の真髄は、聖書にあるからね。中期は聖書作品からの希望に満ちていた。みんなを笑わせようとする津軽人のユーモアも生かされて明るかった。後期は、絶望になっていくとよく言われるが、人間失格でも、最後に神への希望が書かれて終わる。今、若者を含め、太宰ブームとも言えるのは、人々は、太宰なら、自分の辛い気持ちをわかってくれる、そんな共鳴感覚があるからだと思う」

「（稲葉）最近、太宰作品の映画が2本も制作されましたよね。三鷹の文学館にもぎわっているというし」

「（長部）でも、太宰作品の中期の作品をたくさん読んでほしいな。底流に流れる聖書の希望にふれてほしい」

「（稲葉）太宰治は、信仰を持ったと思いますか」

「（長部）持たなかったと思う。だから、最後に自殺した」

それはよく言われることだけど、僕は、そうとは言い切れないのではと思いました。最後は深刻なうつ状態だったのだろうし、クリスチャンでも、うつ状態から自殺してしまう人もいます。今回、長部さんの「桜桃とキリスト」からの史実を読みながら、太宰が、聖書をむさぼるようにして読み、聖書の解説書や聖画にふれ、自分の作品に数多く生かしていくほど感銘を受けていたことを知りました。太宰は、どこかの瞬間で、イエス様を救い主として信じたのではないかと強く思い、天国における楽しみになりました。長部さんのインタビューでは、そこは次回、会った時に話そうと思い、次の質問を投げかけました。

「（稲葉）長部さん自身、よく、これだけ、聖書と太宰を調べられましたね」

「（長部）太宰が、なぜ、そこまで、キリストに惹かれたのか。調べながら、私も惹かれていった。愛を説きながら、当時の権威者、パリサイ人の神学者に弾圧され、十字架に架けられ、一番の弟子たちにも裏切られた。世界中、誰も理解しない状況、たった一人の絶望、最大の苦しみを経て、人々の罪を背負い、自分を不当に苦しめた人々を救った。

これは非常に大きな勇気を与えます。聖書は本当だなんて納得できる。そして、三日後の復活というものすごい、逆転劇。私自身、がんの手術で入院中、枕元では聖書と、執筆中だったマックス・ヴェーバー物語のための『プロテスタンティズムと資本主義の論理』をめくり続けていた。聖書は、明日、生死を決するがんの手術をする！という時に、ものすごい力を与えてくれた」

「（稲葉）イエス・キリストを救い主と信じる決断をされましたか」

「（長部）キリストはすごいと思う。でも、私は、やはり仏陀の教えかな。すべて空である。むなしいという、その教えを信じるかな」

インタビューは、その後、高校のトピックとかに戻り、終わりました。照明機材等を片づけながら、話しは、「すべて空である」に戻りました。「(稲葉) ソロモン王の書いた伝道者の書に、先ほど長部さんがおっしゃった『すべて空である』と、やはり、同じメッセージがありますね。『空の空、すべては空』。でも、その最後は、神様を恐れる、これがすべてだということにつながりますね。そして、キリストの福音は、すべての人のために与えられていると聖書は展開しますよね」「(長部) そうか、..」

後ほど、長部先輩は、僕がインタビュー時に用いた著書、『桜桃とキリスト』、『マックス・ヴェーバー物語』、『邦画の昭和史』、にサインをして送ってくれました。それで、礼状を書きました。

「最後に、長部先輩が、先日、引用されていた仏陀の言葉『空』、すべてむなしいということは、まったく、そのとおりですね。インタビュー後に話したとおり、旧約聖書の『伝道者の書』のソロモン王のことばとまったく同じですね。すべての栄誉とお金、地位、名声、智慧を得ていたというソロモン王の前10世紀に記されたということばです。

『エルサレムでの王、ダビデの子、伝道者のことば。空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。日の下で、どんなに労苦しても、それが人に何の益になろう。一つの時代は去り、次の時代が来る。しかし地はいつまでも変わらない。日は上り、日は沈み、またもとの上る所に帰って行く。..... (伝道者の書1章1-4節)』

私は、日の下で行われたすべてのわざを見たが、なんと、すべてがむなしいことよ。風を追うようなものだ。(1章14節)』

でも、最後にソロモン王は、神の希望に焦点を向けます。

結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。(12章13節)

そして、神様は、世界のすべての民の救い(究極の希望。私たちの自己中心、神を神としない心等、永遠の地獄に行くべき罪の罰を身代わりになって受けるために、十字架で死なれ、そのキリストを信じるだけで、罪なき者として天国へ行けるといふ、究極の救い・希望)をもたすために、キリストを世に遣わしてくれました。もうすぐクリスマスですが、長部先輩、御夫妻の上に祝福の満ちた時となりますように」。

長部先輩とのインタビューを通して、神様にとっても励まされた思いになりました。

近づく関東ミニ学習会

間もなく、ミニ学習会です。4年めになる今年、第1回は、新春、聖句「掛け軸」への挑戦から始まります。いつも大好評の福治牧師が指導してくれます。

そして、白馬でも、すごい盛り上がりあってうれしかったカーグランプリ大会、第4回東京大会もあります(スピード部門とデザイン部門)。

白馬のカーレースとか、忘れられないぐらい、すごく盛り上がり、感動しました。あるティーンの参加者は、二日ぐらい、ほとんど寝ない感じで、デザインを作成したとか(白馬でデザイン部門優勝でした)。ある親子はスピードを出すために、工夫に工夫を重ね、テストランしてやってきたとか、ある家族は、いろんなオイルを試して、最後は、マーガリンが一番早いと発見したとか、...。各車の聖句入りデザインもすごかったです。

ある方が白馬で、「感想文大会、絵画大会、カーレースグランプリとチアがやってくれることは、素晴らしいと思います! 目標と大きな励まし、貴重な機会になっています」と心から感謝してくれました。別の方も、「これ、素晴らしいね! このようなことは、本当に大事だと思う」とのこと。

感想文も、本当に僕自身、励まされ、毎年、毎年、書いているみなさんの情熱が注がれ、作品のレベルもあがっている気がします。子どもも大人も。

このような大会がここまで盛りあがってできる、その一つの理由に、豪華な賞品があります。ある方が、毎年、毎年、匿名で、心を込めて、チアに、賞品を送ってくれています。それもまた、参加者へのご褒美になっていて、どれだけ励ましになっているかなーと思います。この場を借りて、お礼申し上げます。今回も、豪華賞品、送っ

白馬で披露された聖句入りカー



てくださっているの、グランプリ、こぞって参加ください。それから、春の絵画コンクールも募集が始まりました（13ページ参照）。今から作品の構想、準備、よろしく！

GrapeSEED導入セミナー

白馬セミナーで初登場しましたGrapeSEED 導入セミナーが、分科会として開催されることになりました。メリットとして、今回のセミナーに参加されると、GrapeSEEDを始めるために、必ず受ける必要のある「英語カリキュラム GrapeSEED 導入セミナー」が受講修了となるメリットがあります。どなたでも、こぞってご参加ください（9ページ参照）。

GrapeSEEDに限りませんが、ティーンの皆さんも、英語のコミュニケーション力、実力を養ったらと思って、あるホームスクーラー・ティーンのH君と話しました。

「H君は、9才の妹のEちゃんがGrapeSEEDやるから、一緒にできないよーって、感じで、抵抗あるかな？ あるいはDVDのイラストがイメージ的に幼児向けに感じるのか」

「それはないんですけど、他の勉強が忙しくて、そこまで時間が無いというか」

「そうか。英語も、読解とか、文法とかの勉強で、発音とか、会話、コミュニケーションまで手がまわらないってことかな？」

「そうですね」

「確かに、大学受験とか考えるとそんな気持ちになるのもわかるかな。でも、僕の体験からすると、今から、実用的な英語のコミュニケーション力とか、発音とか、ヒアリング、学んでおくと、将来、必ず役立つと思うよ。いろんな出会いやビジネスチャンスは確実に広がるから。そして、今後、ますます、その傾向は加速すると思うよ。実は、僕らの世代は、大学とか、会社に入ってから、必要に目覚めて、そのような学習を始めた人が多い世代だけど、苦勞するんだ。ことばは、少しでも若い時から始めるといいと誰しも感じていると思う」

「それは何となく、わかります」

「受験勉強の時間が忙しいうって思う気持ちもわかるけど、一日、電車の時間とか、30分とか、散歩しながら1時間とかでも、今から積み重ねていったら、1年たったら、莫大な時間となるでしょう。英語にも慣れてきて、コミュニケーションできる喜びも出てくるから、いわゆる受験英語といわれる文法とか、読解も楽しくなってくるよ」

「なるほど。短い時間からでも始められるっていうのはいいかな...」

そんな会話をしました。ティーンの間も、せっかくの機会だから、英語の実力を養うことへのチャレンジ、検討してみたいと思いました。2-3才から始めるほどの発音レベルにはならないかもしれないけど、でも、努力を重ねれば、18才から日本語学習を始めたポールさんやピリポさんら宣教師の皆さんや、外国からの大相撲の関取たちのような日本語レベルには、なれると思う。



小宮山洋子厚労省副大臣

英語環境を増やしていったって、的確なカリキュラムや指導があれば効果的だと思います。トライしてみたいかどうか。決して、今からでも遅くないので(。^。^)。

小宮山洋子厚労省副大臣インタビューは次号紹介！

年が明けて、衆議院議員で厚生労働省副大臣の小宮山洋子さんとのインタビューの扉が開かれました。NHKの先輩にあたる小宮山さんは、やはり、義とすることにまっすぐ向かう方で、これもとても励まされる時間でした。また、「フリースクール環境整備推進議員連盟」を立ち上げ、ホームスクーリングについても、NHKキャスター、解説委員時代から、長年、関わってこられ、尽力されています。世田谷区議会議員予定候補者で、クリスチャンの佐藤美樹さんを応援しています。この時のお話しは、また、次号に詳細をお伝えしますね。

2011年、銀の精錬から、豊かな地へ

多くの皆さんとの出会いや学びの中で、2010年が過ぎ、そして、2011年、新しい年に、神様の力をお願いし、あわれみと恵みの中で、成長していければと思っています。失敗の多い歩みです。悔い改めつつ、神様からの赦しと勇気をもって前進していければいいなと思っています。

聖書に「神よ。まことにあなたは私たちを調べ、銀を精錬するように、私たちを練られました。…しかしあなたは豊かな所へ私たちを連れ出されました（詩篇66：10、12）」と書かれてある通り、ますます豊かな1年でありますようにと祈ります。新年が皆さまにとって、さらに恵み深い、祝福に満ちた1年であるよう、深き祝福を祈ります。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

1/31 関東ミニ学習会 新春・聖句掛け軸に挑戦！ チャ・にっぽん & 「英語教材GrapeSEED導入セミナー」(分科会)

カーレース・グランプリ！大会も同時開催！

月1回程度の学びや、体育、交わりの機会が持てたらとの声に応えて始まった関東ミニ学習会も4年目に入りました。今回は、好評の書き初め大会。でも、初めて「新春・聖句掛け軸に挑戦！」です。そして、話題の「英語教材GrapeSEED導入セミナー」(分科会)も、同時開催されることになりました。さらに、白馬で盛り上がったカーグランプリの東京大会、そして交わり&体育と盛りだくさん。どなたでも大歓迎です。遠方からの皆さんは、オリンピックセンター内にあるユースホステルへの宿泊も可能です(次ページ参照。ご予約はお早めに！)。ご参加、待ってまーす！



日時：1月31日(月) 開場：午前10:00 スタート：午前10:30 終了予定時刻：午後3:45
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木) センター棟309号室 集合
スケジュール：

- 10:30 「第4回 カーレース・グランプリ大会」
- 10:50 ■分科会1：書道「新春 聖句掛け軸に挑戦！」
- 分科会2：英語「英語教材GrapeSEED導入セミナー Part1」(センター棟508号室)
- 11:40 アップデート タイム(各家族の近況報告)
- 12:20 昼食
- 13:20 ■分科会3：体育&セミナー(ストレッチ&バレー、バスケット、野球&ドッジボール)
「年齢別・運動神経を発達させるための運動プログラム Part 10 (約20分)」
特別講師は、藤井一朗さん(九重部屋公認トレーナー、米国公認スポーツトレーナー)。今回も、
家庭で実践できる新しい運動を紹介予定です。その他の講師：稲葉寛夫
- 分科会4：英語「英語教材GrapeSEED導入セミナー Part 2」(センター棟508号室)
- 15:30 フィナーレ(体育館)
- 15:45 解散(自由参加で16:30までGrapeSEED質問コーナーOK)

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください！

持ち物：筆、すずり、墨汁、新聞紙(多めに)。(カーレース参加ご希望の方：レースカー)、体育館シューズ、
運動できる服装。親御さんも一緒にどうぞ！

参加費：大人(中学生以上) 700円+590円(食費実費)+掛け軸・用紙代500円

小学生以下 500円+540円(4歳以上は食費実費)+掛け軸・用紙代500円

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください(お振り込み先は次ページを参照)。

1月31日(月) 第12回 関東ミニ学習会
参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	(携帯)	お電話
ご住所(〒)		
参加費 大人(中学生以上) 1290円 × () 人	■掛け軸・用紙 希望人数 500円 × () 名	
子ども(4歳以上) 1040円 × () 人	■英語教材GrapeSEED導入セミナー 参加希望 ()	
子ども(3歳以下) 500円 × () 人	合計 () 円	
参加者ご氏名&性別&年令		
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳



GrapeSEEDならびにロゴマークはグレープシティ株式会社の各国における登録商標または商標です。



■「英語教材GrapeSEED導入セミナー」

白馬セミナーで初登場した新しい英語教材、GrapeSEED（ホームティーチング版）は好評で、利用者が増えているようです。その導入のために、1月31日（月）のチア合同学習会（分科会）でセミナーを開催して下さることになりました。どなたでも参加OKです。今回のセミナーに参加されると、GrapeSEEDを始めるために、必ず受ける必要のある「英語カリキュラム GrapeSEED 導入セミナー」が受講修了となるメリットがあります。前ページの申込書で事前、申し込みを受け付けています。ご連絡ください。

同セミナーは、3月21日（月・祝日）に、チア・サポートスクール・オープンキャンパスデーとの同時開催も予定しています。ウィークデーに出席されやすい皆さんは、1月31日（月）に、祝日が出やすい皆さんは、3月21日にご参加くださいとのプランです。チア・コンベンションでの5月末・関西会場（生駒聖書学院）、6月第一週・東京会場（オリンピック記念青少年センター）でもセミナー開催の予定です。今から、スケジュールマークくだされば幸いです。

なお、GrapeSEEDセミナーの際には、チア・サポートスクールの案内も、そのセッション内でも行おうと思っています。実際に、欧米人の先生と向き合っコミュニケーションするチャンスは、子どもたちの学習に大きなプラスになると思っていますので、利用できる皆さんは、ぜひ、チャンスを生かされたいと思っています。そのためにも、良い情報収集の機会になればいいなあと祈っています。

まずは、1月31日（月）チア学習会でのセミナー（分科会）へのご参加、お祈りをよろしくお願いします。

■「聖句掛け軸」課題：

講師に福治友輝先生をお迎えして、第2回新春書き初め大会を開催します。今年は掛け軸に挑戦！「課題コース」と、「家族で1つの掛け軸を完成させるコース」など、いろいろなコースを用意しています。課題コースは下記の聖句の予定です（追加の可能性あり。自由選択も可）。聖句箇所は、聖句の左下に小さく書く感じとのことです。

(1) 幼稚園：「いのり マタイ二十一章十三節」

「ひかり ヨハネ一章五節」

(2) 小学校低学年：「美しい 伝道者の書三章十一節」

「したがう エペソ六章一節」

(3) 小学校高学年：「神の平安 ビリビ四章七節」

「主の栄光 イザヤ四十章五節」

(4) 中学生：「常に喜べ 第一テサロニケ五章十六節」

「絶えず祈れ 第一テサロニケ五章十七節」

(5) 高校生・一般：「神は愛なり 第一ヨハネ四章八節」「凡事謝恩 第一テサロニケ五章十八節」

新春の掛け軸という貴重な体験を、どうぞ、お楽しみください！



GrapeSEEDセミナー中、お子さんたち（2才以上）がもう1つの分科会に参加することも可能です（午後3時半まで）。

■振込先：■郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 （普）1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

※宿泊施設のご案内

オリンピックセンター内にあるユースホステルが利用可能です。ご希望の方は、下記まで直接、お申し込み下さい。（早めに満室になりますので、ご予約はお早めに！）

■東京代々木ユースホステル

TEL 03-3467-9163 HP: www.jyh.gr.jp/yoyogi/top.html 1泊素泊まり：3600円（非会員）、3000円（会員）

チア・サポートスクールは Chea Support School

- ◆チャーチ&ホームスクーラー、ホームスクーリング・マインドの子どもたちの助け。
- ◆学力、実力、資格取得、チャーチ&ホームスクーリングライフのサポート。
- ◆聖書をベースにして、魂の救い、キリストの弟子の心を与える、伝道・世界宣教の目的達成への学業・実技面からのヘルプ。

生徒を多方面からサポートする学習システム

教科ごとに、グレード/ステップ・チェック(※1)を行い、生徒それぞれの進捗に合わせてカリキュラムを構成します。ステップをひとつひとつ着実に身につけていくことにより学習能力を高めるだけでなく、誠実、勤勉、従順な心をはぐくみます。

また、ひとりひとりの生徒のビジョン、目標を見据え、主から与えられた個性を伸ばしていきます。資格取得試験、大学受験対策は、宮崎がカウンセリングを行い、指導を行います。

(※1) 小学生～高校生の学習過程を大きく12段階に分ける。これを1～12グレードとし、各グレードをさらに分割。これをステップとする。

グループクラス (5科目)

一斉集団授業ではなく、3名～5名程度の生徒をひとりひとり順に指導していきます。その生徒に最も適したやり方で、学習を必要な分だけ割り当てて進んでゆけるので無駄のない最短コースで勉強することができます。

英会話クラス (GrapeSEED)

学年、レベルに合わせた生徒、4名～6名程度までのグループ・レッスンになります。トレーニングされたネイティブ・スピーカーの指導でGrapeSEEDを使い、楽しく英会話を身につけていきます。生徒の進捗に応じてクラス編成を行います(適時)。保護者の方の参観もできます。ご希望があれば、プライベートレッスンもお受けいたします。

※授業は1コマ45分。

※ご希望の曜日・時間をお選びください(現在、火～木の午前に4セッションを予定しています)。生徒数、レベルに応じてクラス編成をいたします。ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

チア・サポートスクール本校所在地：東京都世田谷区赤堤4-41-5

京王線 下高井戸駅 徒歩2分

各 申 込 書

(FAX 03-6862-8648) www.cheajapan.com

☐ GrapeSEEDの資料希望 (無料)

☐ GrapeSEED、ティモシー・ブローマンさんの白馬セミナーの分科会CD希望 (50分×2枚、1000円+送料)

☐ チア・サポートスクールの資料希望 (無料)

お名前 _____

ご住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____ e-mail _____

2011年4月開校に向けて、只今、全力で準備中!! お問い合わせはメールかお電話で。

e-mail: horiit@arkvillage.com TEL 03-5300-0820 担当: 堀井卓まで

動き出す チア・サポートスクール！ Vol. 4

☆ メーガン先生の、ミニWelcome パーティ！ ☆



チア・サポートスクール（CSS）の英語部門主任として、就任が内定しているメーガン・マーシャル先生。明泉幼稚園のバイリンガル特別編成クラス、イメージンクラスの冬休みを利用して、テキサス州の実家で過ごされました。

そして、仙台への帰路、CSSスタッフとの打ち合わせ、準備等のために、東京に寄ってくれました。成田空港から、まっすぐに、3月末からホームステイをする予定の堀井洋二兄宅に直行しました。「とっても楽しい！ 明るくて、気さく！ 良かった」と、堀井家、メーガンさん両サイドから、同じインタビュー結果がありました。

この日、堀井家では、期せずして、教会の若者たちの交わりのひと時。準備したWelcomeケーキをみんなで一緒に食べて、メーガン先生を歓迎しました。その後は、メーガン先生、ユースグループと一緒に「神経すいじゃく」や様々なゲームに熱中して、予定より遅くに仙台に向かいました。

日本人の中に入って、日本語も覚えたいというメーガン先生の学習はこの日からスタート。明るく、気さくなメーガン先生に若者たちも溶け込んで、神様を讃えるひとときが持てました。ますます良き準備、そして交わりが持てるよう、どうぞ、お祈りください。



☆ 速報！ 日経ビジネス（1月24日号） ☆

「グレイプシティ、宮城明泉学園」特集記事 GrapeSEED 掲載！

「敗れざる不屈の経営者たち」シリーズの最終回として、日経ビジネス誌は、「グレイプシティ、宮城明泉学園（学校法人）－「隣人の愛」が成長の礎」と題して、特集記事を組みました。

海外から注目を浴び、日本30の幼稚園、韓国160の幼稚園の採用が今春から始まるGrapeSEED教材を「大ブーム」と報じ、そのコンセプトを詳細に伝えます。教材開発の背景にある、明泉幼稚園、そして、グレイプシティ設立の歴史、さらに、その創設に大きな貢献をしたポール・ブローマン氏の思い、キリストの愛を起点とする「隣人愛」に迫ります。よく取材・構成された好記事で、お薦めです。



父の心を子に向け、子の心を父に向けて——（マラキ4：6）

チア・コンベンション

C h e a C o n v e n t i o n

- ◆約30人の講師陣、約80の講演&分科会！
- ◆大好評、チルドレンミニストーリー
- ◆ティーン（13-18歳）のためのLIT（リーダーズ イン トレーニング）！
- ◆昨年参加1100名！ どなたでもご参加ください!!

<関西スケジュール>

日時：5月27（金）-28日（土）

場所：生駒聖書学院（奈良県生駒市）

<東京スケジュール>

日時：6月3（金）-4日（土）

場所：国立オリンピック記念青少年
総合センター（東京都渋谷区）

* 第2回 チア・にっぽん杯 *

絵画コンクール

コンベンション会場で表彰式&展覧会

入賞者には賞状・賞品あり！

昨年、初の試みとして開催した絵画コンクールには、見る者の胸を打つ感動の力作が多数寄せられ、大変好評をいただきました。その第2回目を今年も開催いたします！

今年も作品のテーマは「聖書」。聖書のどの場面でもOKですので、自由に想像をふくらませて絵画に描いてみてください。表彰・展覧会は、コンベンション会場です。入賞者には、チアからの賞状とチア・メンバーからの賞品あり！どなたでも大歓迎です！お待ちしております！

<応募要項>

■**テーマ**：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■**部門**：（1）小学生の部 （2）中高生の部
（3）一般の部

■**作品のサイズ**：自由（画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です）

※【下記の項目を作品の裏にご記入頂き、ご応募下さい】
氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、
絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■**応募締切**：5月16日（月）

■**送り先**：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「絵画コンクール」係



日本のガリラヤ湖

チア・サマーキャンプ 2011 ザ・猪苗代湖畔

今年9年目を迎える、チア・サマーキャンプは、大幅、新企画で実施される予定です。これまでの明泉キャンプは2012年、もしくは2013年に復活予定です。今回、トライしてみれば、何年かに1回、湖畔キャンプができれば理想的と思っています。

誰でも、どんな年齢層でも楽しめます！今回は、180名と人数限定です。申し込み受け付けは多分、早くても2月下旬以降ですが、早めにお申し込みください。

期日は、8月18日（木）～20日（土）です。ティーン向け、LITは16日（火）スタート予定。

＜9年越しの「湖畔キャンプ案」実現へ～誕生の物語！＞

8月上旬～お盆の時期は、超人気湖畔キャンプ場です。でも、16日以降は、うって変わって、静かな湖畔のバイブルキャンプへ！夏の日差しと涼風、最適な静寂、波音が訪れます。これまで、この時期は、明泉、仙台の伝道者の皆さんが200～300名で年に一度のリトリートファミリーキャンプを開催されていました。今回、新しいことにチャレンジしてみないかと何人かの皆さんから提案あり。猪苗代湖キャンプは、現在の「チア・サマーキャンプー仙台・明泉学園」の最初（2002年）の原案でした。（次号に続く）

＜キャンプ概要です＞

場所は、日本のガリラヤ湖と言われる、福島県猪苗代湖畔です。宿泊は、テント。寝袋、毛布等は原則、持参。テントは借用可能ですが、お持ちの方は、是非、ご持参ください。

◆対象年齢 0～90才あまり。上記の仙台の皆さんのサマーキャンプは、0歳児から80代までのファミリーキャンプで、皆さん、とても楽しんでます。どうしても、体調等ある方は、近くの民宿、ホテル、国民宿舎に泊まりつつ、車で通うことも可能です。

◆ボート10数台乗り放題（家族、若者、大人と一緒に子どもOK。カヌーもあり）

◆小さな子どもたちも泳げます！…50メートル沖ぐらいまで、水深およそ50センチあまり！砂地の速浅の浜辺が続きます！泳ぎの得意なティーンや大人も楽しめます。約500メートル先まで、ボートに追走してもらいつつ、泳げます。3日間で15往復のティーンもいました！

◆五色沼ハイキングあり！（徒歩で約1時間ぐらいの平坦なハイキングコースです）

◆テントの設置は、猪苗代湖畔。岸辺から、5～15メートルあたりの砂林の中。波音を聞きながらの夜と朝、最高です！

◆ご飯は、カレー＆バーベキュー。朝と昼は、シンプル＆健康キャンプ食。

◆よき交わりの時間、たっぷり！初めての方、おなじみの方、誰でも大歓迎！

◆バイブルタイム（朝食＆夕食の前後）夜のチャーチ＆ホームスクーリング入門セミナーあり。

◆湖上、花火大会＆キャンプファイアーあり。

◆東京駅からの送迎バスあり（LIT、一般共に）。大阪発は、人数によって検討中。

◆LITの初日は、丸森＆明泉／グレースシティ泊です。

◆シャワーは原則、湖。大人の女性用には、キャンプ用トレーラーの温水シャワー可。

◆費用は例年の明泉キャンプと同等です。

◆ソフトボール可。

◆集合場所：現地（電車の方は、JR猪苗代湖駅等への送迎を検討中です）

さらに詳細は次号にて発表予定 こうご期待！



試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「ファイアー・ストーム」

- 1月29日(土)
東京 大平洋放送協会(日本基督教団 渋谷教会)
03-3295-4921
- 2月6日(日) or 11日(金)
千葉 主イエス・キリスト千葉教会 0476-37-2030

- 2月20日(日)
東京 久我山キリスト教会 03-3334-9851
- 2月26日(土)
東京 調布バプテスト・テンプル 042-487-3202

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会(ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード(ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション(関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団(年次総会)
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル(2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ

- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会(2回目)
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalom Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会(2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

試写会 受付中！

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！ DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まず、チア・にっぽんに資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、両作品からの大いなる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。

詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648）。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com

お申し込みをお待ちしています！

〈 主催者の声 〉

「この度は大変お世話になり、ありがとうございました。壮年会の例会での上映ということもあり、クリスチャンばかりの集まりでしたが、迫力あり、笑いあり、涙ありの素晴らしい映画に、参加者の方からは良い反響が多数ありました」

＜ 全国各地の試写会から届いた声 ＞ 世代を超えて、広がり続ける感動！

＜大阪クリスチャンセンターでの試写会＞

・久しぶりに涙した（男泣き）。夫婦は互いに違いがあり、その違いをどう相手に活かしていけるのか、深く考えさせられるものでした。また、世の誘惑は巧妙であり、常にその危険性があり、それを信仰者としてどう扱うか、チャレンジを与える良い作品だ！（70代 男性）

・とても感動しました。キリスト教の伝道のために企画された映画なののでしょうか。それでも、とっても一般の方にもぐいぐいと説得力のある構成だと思いました。やはり人生の根幹に人間の自己本位の罪と、上よりの神さまのお導きがなければ、このような結末にならない。（80代 女性）

・キリスト教書店でこの作品は知っていて、気にはなっていました。スクリーンで見られて嬉しく思います。涙が出るほどの感動でした。（40代 男性）

・良かったです。結婚について、その生活のあり方について、神の介在、捉え方等、深く考えさせられました。（70代 男性）

・両親の信仰が、祈りが、息子の心を神に向けさせた事、相手の心を変えるより、自分の心を変える事ができた、その背後に働かれた神の愛を教えられました。（70代 女性）

・DVDを買いました。日本でも結婚は社会問題です。聖書から学んでいくことは大事だと思います。（40代 男性）

・とても感動する映画でした。信仰によって互いに救い合い、助け、励ます。謙遜であるべきことを学ばせていただきました。最後は愛で結ばれるところに深い意義がありました。（70代 女性）

・非常に良かったです。感動しました。自分も同じように結婚の危機にあり、身につまされて見ていました。この映画を沢山の人の見てもらって、同じような感動を味わってもらいたいと思います。（60代 男性）

・大変良かった。どんな危機的状況にあっても、愛をもって忍耐し実行するならば、いつか花開く時が来ることを知った。（70代 男性）

（その他の皆さんの声は、www.cheajapan.comへ）

白馬セミナー2010 アンケート Part 2

・まるで天国のような、あたたかく神さまの愛に包まれているような感じでした。今回は分科会の担当をしました。準備の中で自らの今までのホームスクーリングの恵みを再認識することができました。スコットさん、マーシャさんの自らの経験からのわかりやすい話、参考になりました。(埼玉 山口光男)

・良かったです。たくさんのことを学ぶことができました。また一年間、頑張れるエネルギーをいただきました。(匿名)

・いつもながら、チア・スタッフ、サポートの皆さんの深い愛を感じるセミナーでした。ご準備、ありがとうございました。今回、10代の子どもを持つ親のための講演、分科会が多く、わが家にとってタイムリーでした(主はいつも必要を満たしてくださるので感謝)。神様から力を得て、子どもの心を読み取り、的確、バランスよくケアすることを学びました。また、子どもへの親の罪深い応答(過保護、権威的、恐れ、放任)に対する解決法はとても参考になりました。(埼玉 小西智恵美)

・とても良かったです。毎回、心身・霊肉共にリフレッシュ・リセットできます!! 1つのおすすめは、早着→早温泉です。いつも受付後半に到着していましたが、今回は12時過ぎ早々に到着しました。スタートまで2時間以上あり、本当にゆっくりと温泉に入れました。まさにリフレッシュ!! (最初は一人で、あの広い浴場がマイ温泉でした)。それから幸いなメッセージとおいしい食事!! 最高!!

スコット先生の「ホームスクーラーの父親」が良かったです。今回、特にティーンのことについてフォーカスが当てられたのも、良かったです。(長野 森脇弘隆)

・2日目のディポジションで、第一モチベーション3:4「十分な威厳をもって子を従わせている人」を示され、どのようにすればいいの悩んでいました。が、第11セッションのスコット・ソマービルさんの分科会の中で、父親は「祭司として、預言者として、王として」を話されたことで解決しました。ありがとうございました。(大阪 藤本正)

・来年の春は、長女が小学校に入る年です。新たなチャレンジ、確信を与えられる時となりました。いろんなことを学べ、参考になりました。(北海道 高橋信也)

・事務局の皆さん、お疲れさまでした。主のみわざを、心より感謝します。明泉学園のバス、伝道チームの方々とのお交わりが思いがけず幸いな旅行となり、感謝でした。12才の息子が白馬セミナーに行くのを渋っていましたが、(現在公立小に通学)ホテルに着くと、もう男衆5人組で動き回り、親のほうには夜中や帰路に着くまで戻ってこない。同年代といったがる習性を発揮しておりました。その中でも遊び仲間と聖書を読むからと、それを抱えて行ったり、有難いこともやってくれていたようです。いつもながらすご



いごちそうで玄米菜食の私は、ホテルに「玄米」とリクエストしてしまいました。マーシャさんの10代の子どもたちに対する導き方を伺い、今現在置かれている自分と照らし合わせ、とても参考になった。細かく分析していただいて、まず自分の位置を示され、どう行動するか具体的に提案してもらい、心が納得しました。「これはとても大変なこと」本当に謙遜を得たいです。(岩手 さとう直子)

・なぜホームスクーリングなのかが、基調講演とセッションでわかりやすく説明されて良かったです。感謝です。参加されていた親子の方々の愛情あふれる姿がとても印象的でした。(匿名)

・去年に続いて、2回目の参加でした。今回はティーンエイジについての話が多かったのですが、うちは、6才と9才で、これからなので、とても参考になりました。チアのマガジンプレゼントはとても嬉しかったです! 教会のまだ小さい子どもがいる兄妹にプレゼントして、喜んでもらえました。ホームスクールに興味を持ってもらえたらいいなと思いました。マーシャ・ソマービルさんの分科会で、子どもの成長に合わせて、どのように親が子どもと接したらよいか、わかりやすく教えていただき、大変教えられました(第4セッション)。(富山 棚田加代子)

・励まされました。チャレンジも受けました。セミナーに参加する前は、新しい土地で、新しい赴任先で、子育てもしながら、妊娠もあって、家庭以外でもストレスが多くて、疲れてすべてのことから逃げ出したいと思っていました。だから、白馬のセミナーに逃げてきました。主人は白馬は

初参加で、夫婦ともども、講演や分科会などから、神様の恵みを受けました。神様によって始められ、進められている働きだなあと感じました。私たちも、日々、主に立ち返り、御言葉に信頼して、歩んでいきたいです。長女がやっとチルミニに参加できました（3歳過ぎたので）。とっても満足していました。毎日こういうのはなくていいけど、特別な時に、たっぷり充実した時間をすごすことができて、娘にとっても良い経験ができました。Staffの方々の献身的な働きを主に感謝します。ますます主の働きが前進しますように!!（匿名）

・素晴らしい大会でした。何のためにホームスクーリングをしているのかを、もう一度初心にかえて考えることができました。ありがとうございました。（兵庫 阿部俊之）

・あつという間の3日間でした。分科会を2つも持つと聞きたい分科会に行けないことが分かりました（笑）。でも十分恵まれ、楽しみました。ティーンの子を持つ親がフリースタイルに集まり、情報交換できたことが良かったです。ティーンの子が悩んでいることや思いを話す機会を作りたいと思いました。今回のようにフリースタイルに親が集まって話す機会を来年度も作って欲しいです。（兵庫 阿部寿子）

<子どもアンケート>

・楽しかった。うんどうかい、楽しかった。3回目なのにとっても楽しかった。（なるせまなみ 6才）

・パパと朝も夜も温泉に行ったことと、ごはんのデザートときケーキとアイスクリームでママがパフェみたいにしてくれたことが一番嬉しかったです。（高倉琴泉 4才）

・エレベータのライトが「きれい！きれい！」と言っていたので、きれいなホテルに泊まれたことが一番嬉しかったと思います。（高倉契史 2才 お母さん談）

・友達とたくさん遊べたし、聖書のお話もすごく良かった。初めて録音をやったけど、わからないところを教えてくださいして、みんなと仲良くなれました！初めてセッションに行ったけど、すごく良かったです！（江原南 14才）

・楽しかった。友達が新しくできました。素晴らしいセミナーをありがとうございました。神様に感謝します。（上原真友 11才）

・うたをうたったのがたのしかったです。（かきもとみくに 7才）

・図工が楽しかったです。（柿本せら 9才）

・今回の白馬セミナー、とても楽しかったです。今回は初めて小学生以下を担当させてもらって、とても良い経験だったと思います。今度は小学生チームに入って小学生とたくさん交わりたいです。LITも聖書のお話をきけたのでとても嬉しかったです。（阿部真歩（LIT参加） 17歳）

・まくらなげがたのしかった。（匿名）

・たのしかったですーす！ ごちそうおいしかったですーす！ またレストランでチョコファウンテンやって欲しいですーす！（ふじもとみちこ 7才）

・おもちゃいっぱいもらって、たのしかった。ありがとうございました。またきたいです。（柿本える 5才）

・すばらしかったです。分科会がとても良かったです。（月城真美 12才）

・ハイキングが楽しかった。今年と同じことを、来年もしたいです。（島田ちひろ 10才）

・良かった。（上泉あん 9才）

・最高でした！ 友達がいっぱい増えて嬉しかったです！ サムエルさんの話に感動しました。本当にありがとうございました。（那須奈緒美 14才）

・楽しかったです。来年はまくらたたきで同じくらいの女の子とたかいたい。（谷昌しおん 9才）

・楽しかった。もう1回来たい。歌ったのが一番楽しかった。（菊地のゆり 4才）

・おもしろかった。友達ができて良かったです。（匿名）

・白馬でのLITにもやっと慣れてきて、心から楽しむことができました。丸森の人たちの話もたくさん聞けて、それが一番良かったです。今回、LITの中でもいろいろ問題があるけど、自分でよくよするより神様にゆだねちゃえばいいんだ！と気づきました。これからも、神様に仕えるためにLITをずーっとしたいなあと思いました！次LITをするのがとっても楽しみです。あと、賛美の時間に、いろんなホームスクーラーの家族がリードしていて、それもすごいいいと思いました。（小畑百合花 16歳）



サマーキャンプのたき火の前に、チャーチ&ホームスクーラーの鍵谷陽子さんから、アルツハイマーで精神科に入院中だったお父さんを2ヶ月、ホームスクーリング家庭に引き取って過ごされ、お父さんが信仰に導かれて

いく証しを聞きました。とても励まされる内容だったので、文章にして送ってくださると頼み、このほど、書いて送ってくれました。その2回目です。

＜前号までのあらすじ＞ 癌の手術でお母さんが入院したことを受け、アルツハイマーのお父さんを、鍵谷ファミリーは関西から宮城の自宅へ。福音に激しい抵抗を見せるお父さんでしたが、ようやくのこと、信仰告白をしたのですが…。(前号はwww.cheajapan.comへ)

父と過ごした夏 Part 2

鍵谷陽子

ここからは、父を励ます日々でした。父は確かに、イエス様を信じると言いはしました。しかし、その記憶は、すぐに不確かになりました。

父は自分の生みの親に会えないという事が分かったと、よくパニックになり、以前と同じ様に、叫び始めました。

「こんな目に遭うぐらいやったら、死んだ方がましや！」

「死ななあかんのか?! いややー、怖い!!」

「え? 神様? 母さんの事か?」

病気とは言え、そんな言葉を聞くと、父は確かに、信じると言ったけれど、ただ恐くて、その場の苦しさから逃れたくて、口にただけかもしれない。本当は、よく分かっていないかも? という疑念がわきました。

しかし、一方で、やはり救われていなければ、このような事はあり得ないと思われる事もありました。不安にかられる時、励ますと、自分でも、はっと気づき、「でも、ここに誰かが居てくれはるんやったなあ」と胸に手を当て、時には、笑顔も見せるようになったのです。聖霊の働き無しには、あり得ない事だと、励まされ、ただ主のして下さる事に期待しつつ、父の心が守られる様に、祈りました。

時には、本当に大変な事もありました。父は、自分のプライドを守ろうとして、暴言、暴力をふるう事が何度かあったのです。私は、自分のお腹をかばい、きつい言葉に耐えながら、「主よ、助けて下さい」と祈り続けました。

当時、私は、12年ぶりの妊娠中でした。40歳。身体が弱く、普段の生活もやっとという中での妊娠は、本当に主の恵み、と家族全員、喜んでいました。そんな中、父を引き取る事も、これもまた、主の恵み、奇跡! と喜んで、決心したのです。

しかし、いくら心を尽くして仕えても、おさまらない父の不安に、無力感が募りました。私自身、いつの間にか、自分の力に頼ろうとする罫に陥っていたのです。「こんなに頑張ってるのに」という高ぶりがありました。

また、救われたばかりとは言え、同じクリスチャンなのだから、少し

はこちらの痛みもわかってくれてもいいのではないかと、という甘えもありました。父を引き取る前に、ぶつけられた弟の言葉が、重くのしかかりました。

「お姉さんが、流産するのは勝手やけど、その事で苦しむのは、お母さんやねんど。責任取れるのか?」

十 思わず口をついて出た言葉 十

「お父さんは昔からそうだった! 謝ってよ」

自分の口から出たこの言葉に、ショックを受けたのは私自身でした。私は、主イエス様を信じた時に、悔い改め、父を赦したばかりか、逆に赦しを請うたはずでした。辛かった子供時代は、忘れたはずでした。しかし、癒えない古傷がまだ残っていたのです。

父が私に掴み掛かってきた時、主人も叫びました。

「あなたは、いつだってそうだ。女や子供、弱い人にだけ、辛くあたってきたんじゃないか!」

そして、父を突き飛ばしたのです。咄嗟の行動でした。父は、よろめき、あっけなく転びました。

主人の言葉は、昔、私から聞いた話が元になっていました。私は、自分が親に対して、恨みを捨てきれずにいたばかりか、直接害を受けていない主人まで誘惑し、共犯者にしてしまっていたのです。

その夜、私は、泣きながら、父に謝りました。自分こそ、恐ろしい罪人であった。どうか赦して欲しい、と。

父は、見たこともないような優しい笑顔で、応えてくれました。

「お母さん、どうして? お母さんは、いつも頑張ってくれてるやん、ありがとう」

決して、朝の出来事を忘れていたのではない、と思いました。母にではなく、娘にする様に、何度も頭を撫でながら微笑んでくれたからです。

その時です。父の手のひらの傷に気づいたのは。今朝、突き飛ばされ、転んだ時に、父が砂利の上に手をついた場面がフラッシュバックしました。イエス様の愛が胸にせまり、全てが砕け散りました。

「お父さん、その怪我…」

「ああ、これね。昨日だったかな? 確か、トイレに行く時、自分で転んじやったんだよ。あかんなあ」(今朝の出来事以外で、我が家で、父が転んだ事は、一度もありません)

その夜、父が眠った後、私は、主人にも謝りました。主人も、次の日、父に謝ってくれました。



十 父の謝罪 十

その日以来、父は、間違えて悪い事をしてしまう度、素直に謝ってくれる様になりました（我が家のルールは、「悪い事をしたら、大きくても、小さくても、心から謝る」「謝られた人は、赦す」の二つだけです）

それまでの父は（発病後は特に）、自分の非は決して認めず、何としてでも、我を通していたのですから、本当に、驚くばかりの変わり様でした。そんな風に、大小の山を乗り越える毎に、多くの恵みを味わいました。

救われてもなお、父は、消えていく記憶に戸惑い、布団に寝たまま、「死が怖い」と訴える事がよくありました。薬も効かず、何を言ってもだめ。しかし、そんな時、側で、聖書の救いに関する箇所を読んであげると、がばっと起き上がり、正座し、涙を流しながら、「ありがたいなあ！ 助けて下さってありがとうございます！」と、すっかり元気になる事が何度もありました。すぐに忘れても、御言葉を聞くと、また思い出すのです。

「この苦しみの時に、彼らが主に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。主は御言葉を送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」詩編 107：19～20

また、日曜日も、教会での交わり（礼拝）に座ってられない父に付き合い、途中、二人で散歩に出る事がよくあったのですが、そんな時、永遠のいのちの希望や、天国の話をしてあげると、本当に喜んで、「有り難いねえ。こんなに嬉しい話はないね。お母さん（妻）が来たら、僕が話してあげなくちゃ」と張り切ったり、賛美したりで、あぜ道や、空き地が、いつも素晴らしい礼拝場所になりました。

十 母との2ヶ月ぶりの再会 十

一方で、無事手術を済ませ、予想外の早さで退院できた母は、「しばらくゆっくりしたいから」と、弟と二人、大阪の自宅で過ごしていました。

「お父さんは、お母さんにとっても会いたがっているよ。ただ居てくれるだけでいいから、こちらに来て、休んで！」

よほど、それまでの介護に疲れていたのでしょう。なかなか腰を上げようとしなかった母が、私達のしつこい招きに根負けし、来てくれたのは、7月末。2ヶ月ぶりの再会でした。

母が来てからというもの、父は、喜び、安心し、格段に機嫌が良くなりました。しかし、不信仰な私には、「今もし、母と二人、大阪に戻れば、以前の神様抜きで

生活スタイルに戻ってしまうのではないか？」という心配もありました。母は、父や弟を恐れ、家では、神様の話はできるだけしないようにしていたからです。

せめてこちらに居る間に、神様とともに歩む生活に馴染んで欲しいと思い、両親と共に、聖書の時間や、祈りの時間を沢山持つ様にしました。

案の定、母がいると甘えが出るのか、聖書の時間、父は、聴きたくなくて、わざと音を立てたり、小さな邪魔をするようなことがありました。また、お祈りの時も、素知らぬ顔でぼーっとしている事がありました。

十 小さな天国 十

ある日も、夕食後に、みんなで聖書を読んでいると、自分には関係ないような顔をして座っているので、「イエス様は、お父さんの病気だって、治して下さい事ができるんだよ」と励ましました。ちょうど、その日は、イエス様が病人を癒される箇所を読んでいたのです。

その時、母が言ったのです。

「そうだお父さん。お父さんの病気の事も祈ってみたら？」

父は、自分の口で、祈りました。「天のお父様、私のアルツハイマーの病気を治して下さい。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン」

「（救われたと、聞いてはいたけど）本当だった！」

自分で、提案しておきながら、一番驚いたのは、母でした。

父がイエス様の御名によって祈る姿は、母にとっては、アルツハイマー型認知症が癒される以上の奇跡だったようです。アーメン！

その日は、息子は、岩手での伝道に出ており、メンバーは4人だけでしたが、それでも、どんなに嬉しい一時だったでしょう。皆が喜び、代わる代わる祈りました。イエス様を中心にして、父と、母と、主人と、私がいて、皆、主にある家族なのです！ 私達は、まるで夢を見ている者のようでした。我が家の小さなテーブル、そこは確かに、小さな天国でした（次号に続く）。



GLEEM 第12・13回 (2011春・秋)

5カ月ホームステイ in カナダ

God's Loving English Experience Ministry

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、スキー、スケート、ロッククライミングなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！

現在、カナダ滞在中の源田真生さんから昨年末、グリーム感想文が届きましたので、以下、ご紹介します。

詳細はチア・にっぽん事務局へ (TEL 042-318-1807、メール：kuwatani@cheajapan.com)。お申込みはお早めに！

■次回の予定 <春のプログラム>

出発：2月5日 帰国：7月3日

<秋のプログラム>予定

出発：8月中旬 帰国：2012年1月中旬

チア・にっぽんのみなさんへ (2010年12月) 源田 真生

チア・にっぽんの皆さん元気ですか？ 私がカナダに来てもう3カ月も過ぎて、正直、私の心には日本に帰りたい気持ちもあるけれど、でもカナダの生活はすごく楽しいです。

最初、初めてカナダに来て、私の気持ちは不安とさみしさでいっぱいでした。カナダ人と韓国人の中に1人だけぼつんと日本人で、英語もまだ分かってなくて、「本当にやっていけるのかな…」って思っていました。

でも、神様は私に最高のカナダ生活を与えて下さるって信じてたから、すぐそんな気持ちは無くなりました。ルームメイトになった韓国の友達、他の韓国の友達、カナダの友達もできたし、韓国の友達とは親友って呼べるくらいの友達もできました。だから、今すごく楽しいです。

カナダに来る前より、今の方が神様との1対1の時間が増えたような気がするし、神様を心から求める気持ちもす

ごく出てきて、カナダに来る前より自分はすごく成長したと思います。

カナダで出会ったホストファミリーとも毎日会話して、積極的に質問したり、絆を深めて、いつも楽しく過ごしています。

英語はもちろんまだ聞き取れなかったり、しゃべれなかったり、まだまだ知らない単語がたくさんあるけど、もっともっとホストファミリーと友達と会話して、学校で勉強もしっかりやって、心も英語力も成長して、日本に帰ってみんなの見本になれたらいいなと思います。

あと残りわずかなカナダ生活、最後まで神様を求めて、神様の事を知って、そして神様をもっと愛する事ができるように。そしてこのカナダのGleemプロジェクトに参加させてくれて、応援してくれている私の家族に本当に心から感謝します。ありがとう。

チア・にっぽんの皆さん、お祈りを心から感謝しています！



↑韓国の生徒とともに (右から2人目が真生さん)

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

皆様にお祈りいただき、無事、昨年12月28日に長女を出産致しました。母子ともに守られていることを感謝します。和架（やわか）と言います。

今後ともよろしくお願いいたします。

「神様との和解は、イエス・キリストの十字架によって私たちにもたらされました。」

（宮城 鍵谷徹也・陽子）



長男の蒼空君（11）とともに

・主の御名を讃美します。News Letterいつも楽しみに、感謝しながら読ませてもらっています。（大阪 Aさん）

・ハレルヤ！ 昨年もチアの働きが祝され、新しい方々が加えられた事、本当に感謝でした。まだまだ私たち家族は未熟ですが、成熟目指して今年もチアと共に走っていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。（埼玉 Bさん）

・Happy New Year！ いつもありがとうございます。主なる神に在りて、お働きが祝されますように!!（新潟 Cさん）

・昨年は、WEB会員なのに、WEBを見る時間もとれず、週1時間もとれないほど忙しいことがよくありました。事務局が東村山になったことすら知りませんでした。チアの出版物がきっかけで、知人のお子さん2人が洗礼を受けました。今年は何が待っているのでしょうか。全てに時ありですね。（埼玉 Dさん）

あけましておめでとうございます。昨年に引き続き、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

我が家の最近の大翁喜びのひとつは、昨年11月28日に、長男・豊が受洗したことです（写真を添付します。洗礼の証の時には、なぜか（?!）チア・にっぽんのLITの赤Tシャツを着ていました（笑））。昨年1年間で、体も心も大きく成長したことを身近で見ることができ、神様への感謝でいっぱいです。み言葉を心に留め、良いものを見分け、勤勉に、神様の栄光を現すことができるようにと歩んでいます（もちろん、まだまだ多くの訓練が必要ですが…）

先ほど届きましたニュースレターも、とても興味深く読みました。とても感謝です。特に、鍵谷さんのお父様のお証しは、次号が待ちきれないほど続きが気になっています。まだ半分読んだだけの段階ですが、神様のみわざをほめたたえます。そして、もちろん、鍵谷さんご家族の、主にあるすばらしい生き方にも感銘を受け、励まされています。

今年もさまざまな展開の中、チア・にっぽんの尊いお働きがますます用いられ、祝されますように。

（三重 中島啓子）



昨年12月20日の礼拝の最後に、無事に娘めぐみは洗礼を受けることができました。お友達と共にでした。感謝しつつご報告させていただきます。

（長野 森脇由美子）



すべての人に福音を—— 第2回 東京伝道・体験デー

日時 **2/11** (金・祝)
午前11:00～午後6:00
(1時間でもOK!)

場所 **原宿駅**
(表参道口明治神宮前集合)

滅び行く日本の魂の救いのために、あなたもプラカード伝道、トラクト伝道に参加してみませんか。伊勢崎キリスト福音館では、参加希望の皆様に、来年4月から本格的に始まる東京伝道を体験してもらおうと上記の日程で、トレーニング会を開きます。1時間でも参加できる方は、ぜひ、申し込んでください。



写真：第1回東京伝道プレ体験デーより
(2010年12月28日渋谷駅前にて)



どなたでも大歓迎！ 参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

申し込み：〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町3288-3

TEL 080-5682-9726 (田村正幸)、0270-21-6991

e-mail : masayuki@sacra.com

チア・にっぽんカレンダー

●VIPグローバルコミュニケーション横浜

1月29日(土) 18:00-21:00

「聖書が教える子育て・親育て・自分育て
- 0歳から20代を超えた子・孫たちのために」

講師: 稲葉寛夫

場所: かけはし都筑(横浜市都筑区)

連絡先: 広山国臣さん(090-9922-1856)

●調布バプテスト・テンプル セミナー

1月30日(日)

講師: 稲葉寛夫

場所: 調布バプテスト・テンプル

(調布市上石原1-17-1。西調布駅から徒歩7分)

連絡先: 042-487-3202

●チア・にっぽん関東ミニ学習会(予定)

・1月31日(月)

・3月22日(火)

・7月11日(月)

◆国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)

●GrapeSEED導入セミナー(予定)

・1月31日(月)

・3月21日(月・祝)

・5月27日(金)-28日(土) チア・コンベンション

・6月3日(金)-4日(土) チア・コンベンション

●VIP慶大・早大

5月9日(土) 18:00-21:00

メインスピーカー: 柴橋正直衆議院議員

ゲストスピーカー: 稲葉寛夫、三谷康夫、大垣昌夫

場所: 慶応義塾大学三田キャンパス(三田駅徒歩7分)

連絡先: 森敬子さん(090-2339-8369)

●チア・コンベンション2011

関西 5月27日(金)-28日(土)

東京 6月3日(金)-4日(土)

●チア・サマーキャンプ ザ・猪苗代湖畔(福島)

8月18日(木)-20日(土)(予定)

LIT(8月16日-20日)

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)

11月17日(木)-19日(土)(予定)



メンバー募集!

メンバーになると、様々な特典があります!
「チア・マガジン」、書籍、DVDなどが、なんと10%オフ!! このほか、コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナーが、会員割引価格で参加できます。

会費 (1) 個人メンバー 年間 5,000円
(2) Webメンバー 年間 3,000円
(3) 団体メンバー 年間10,000円

■「郵便振替」: 00190-3-35461

チア・にっぽん事務局

■「銀行」: 三菱東京UFJ銀行

赤羽駅前支店 普通 1746716

ホームスクーリング・ビジョン(株)

☆ 広告募集中 ☆

チアニュースレター/マガジン/HP等

広告を通して、チアの皆さんとの絆を深め、チアのミニストーリーを支えませんか?
詳しくはチア事務局まで。

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町

1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

www.cheajapan.com